



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮崎 正次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 木村 正志 TEL 03-6695-9938
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	265,102	5.0	21,429	△10.9	7,414	△70.2	3,612	△80.6	3,403	△81.6	11,539	△46.7
2022年3月期第3四半期	252,368	14.4	24,063	31.1	24,907	39.3	18,633	37.4	18,513	36.0	21,642	63.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	27.33	27.07
2022年3月期第3四半期	156.67	152.82

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期第3四半期△264百万円 2022年3月期第3四半期△203百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	569,887	138,786	137,947	24.2
2022年3月期	591,320	136,065	135,374	22.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	38.00	38.00
2023年3月期	-	36.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	358,317	5.2	33,604	311.1	17,638	487.5	9,918	-	9,709	-	77.91

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 2023年3月期の連結業績予想について、詳細は添付資料P. 8「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	125,081,404株	2022年3月期	124,144,242株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	211,941株	2022年3月期	211,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	124,540,181株	2022年3月期3Q	118,166,307株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) キャッシュ・フローに関する説明	7
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(セグメント情報)	17
(売上収益)	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当期」という。）における当社グループの売上収益は、265,102百万円（前年同期比5.0%増）となりました。全般的に為替の好影響があり、糖尿病マネジメント事業は前年同期比で増収となりました。診断・ライフサイエンスでは、研究・医療支援機器分野での一般需要の好調に加え、mRNAワクチン製造拠点における超低温フリーザーの需要も継続し、前年同期比で増収となりました。ヘルスケアソリューションでは、新型コロナウイルス感染症第8波の影響により、同感染症PCR検査の検査数は前年同期比で増加しましたが、同検査の診療報酬の引き下げによる価格への影響を受け、前年同期比で減収となりました。

営業利益は21,429百万円（前年同期比10.9%減）となりました。上述のPCR検査の診療報酬低下の影響に加えて、原材料費や運送費等のインフレ影響があり、減益となりました。

調整後EBITDAは49,320百万円（前年同期比12.8%減）となりました。主な当該調整項目としては、一時的なM&A関連収益・費用（加算530百万円）、一時的な事業構造改革関連収益・費用（加算3,684百万円）、一時的な役員報酬（加算1,346百万円）、一時的なその他の収益・費用（減算331百万円）がありました。

税引前四半期利益は7,414百万円（前年同期比70.2%減）となりました。この減少は主に、前述の営業利益の減少に加えて当社が非支配持分を有する上場会社であるSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価に基づく評価損6,479百万円（前年同期は1,025百万円の評価益）と金融費用の増加によるものです。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,403百万円（前年同期比81.6%減）となりました。この減少は主に税引前四半期利益の減少によるものです。

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益は15,716百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	252,368	265,102	5.0%
営業利益	24,063	21,429	△10.9%
EBITDA	47,434	44,055	△7.1%
調整後EBITDA	56,580	49,320	△12.8%
税引前四半期利益	24,907	7,414	△70.2%
四半期利益	18,633	3,612	△80.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	18,513	3,403	△81.6%
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する 四半期利益	24,837	15,716	△36.7%
米ドル平均レート (円)	111.06	136.37	25.31
ユーロ平均レート (円)	130.53	140.51	9.98

(注) EBITDA、調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益は国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	24,063	21,429	△10.9%
+ 減価償却費	23,469	22,250	△5.2%
+ 減損損失（有価証券等を除く）	△98	375	—
EBITDA	47,434	44,055	△7.1%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	872	530	△39.2%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	4,065	3,684	△9.4%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△1,066	35	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	1,482	—	—
+ 一時的な役員報酬	2,496	1,346	△46.1%
+ 一時的なその他の収益・費用	1,296	△331	—
調整後EBITDA	56,580	49,320	△12.8%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

(キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
親会社の所有者に帰属する四半期利益	18,513	3,403	△81.6%
(調整額)			
+ M&A関連収益・費用（償却資産）	8,821	9,705	10.0%
+ 減損損失（有価証券等を除く）	△98	210	—
+ 転換権付貸付金時価評価収益・費用	△1,025	6,479	—
+ 法人税見合い調整額	△1,374	△4,082	—
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する 四半期利益	24,837	15,716	△36.7%

(注) キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益を以下の算式により算出しております。

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益

= 親会社の所有者に帰属する四半期利益 + M&A関連収益・費用（償却資産） + 減損損失（有価証券等を除く） + 転換権付貸付金時価評価収益・費用 + 法人税見合い調整額

セグメント別の状況
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	82,257	83,729	1.8%
営業利益	18,742	19,671	5.0%
EBITDA	28,873	27,499	△4.8%
調整後EBITDA	31,393	27,849	△11.3%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	18,742	19,671	5.0%
+ 減価償却費	10,123	7,685	△24.1%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	8	142	—
EBITDA	28,873	27,499	△4.8%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	—	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	2,883	118	△95.9%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△1,033	35	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	654	151	△76.9%
+ 一時的なその他の収益・費用	16	45	181.3%
調整後EBITDA	31,393	27,849	△11.3%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\begin{aligned} \text{EBITDA} &= \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)} \\ \text{調整後EBITDA} &= \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用} \end{aligned}$$

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、83,729百万円(前年同期比1.8%増)となりました。血糖値測定システム(BGM)事業では、為替の好影響があったものの減収となりました。アジア太平洋地域を含む新興国市場で増収となった一方、米国では、自費購入者チャネルで市場シェアを獲得したものの、販売協業の終了による影響が継続したため減収となった他、英国・イタリアも市場の縮小傾向が続く中で減収となりました。持続血糖値測定機(以下「CGM」という。)の売上収益は、Senseonics社製埋め込み型CGM「EversenseE3」が米国市場において第1四半期に販売を開始したことを受け、増収となりました。OEM事業の売上収益は、迅速検体検査(POCT)の成長と新しい電動式医薬品注入器の導入により、増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、19,671百万円(前年同期比5.0%増)となりました。前年同期に対する増加の主な要因としては、無形資産の償却期間終了等により減価償却費が減少したこと(前年同期比2,438百万円減)に加え、前年同期には一時的な費用としてBGM事業の営業体制見直しのための事業構造改革関連費用2,883百万円がありました。一方減少要因として、BGMの販売経費の削減に努めましたが、CGM販売の営業体制を強化したこと及び為替影響による販売費及び一般管理費の増加がありました。

調整後EBITDAは27,849百万円(前年同期比11.3%減)となりました。主な当該調整項目として前年同期は、一時的な事業構造改革関連費用2,883百万円の加算及び一時的な資産の処分等収益・費用1,033百万円の減算がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	99,632	99,175	△0.5%
営業利益	12,441	8,480	△31.8%
EBITDA	20,271	16,626	△18.0%
調整後EBITDA	20,643	17,444	△15.5%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	12,441	8,480	△31.8%
+ 減価償却費	7,830	8,146	4.0%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	20,271	16,626	△18.0%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	60	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	149	748	402.0%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△33	—	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	177	69	△61.0%
+ 一時的なその他の収益・費用	20	—	—
調整後EBITDA	20,643	17,444	△15.5%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、99,175百万円(前年同期比0.5%減)となりました。LSIM事業の売上収益は、72,169百万円(前年同期比3.5%減)、メディコム事業の売上収益は、27,006百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

LSIM事業では、新型コロナウイルス感染症第8波の影響を受け、同感染症PCR検査の検査数が前年同期比で増加しました。また、その他の受託検査の売上は前年対比で増収となりましたが、PCR検査の診療報酬引き下げの影響により、臨床検査事業全体では前年同期比で減収となりました。診断薬事業では、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時検査キットの販売も開始し、新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットの販売が増収となりましたが、重症化率の低いオミクロン株に推移したことにより、主に重症化患者向けに使用されていた海外向け新型コロナウイルス感染症関連試薬の売上が減少した影響を受け、前年同期比で減収となりました。創薬支援事業は、新型コロナウイルス感染症ワクチンの治験や医薬品分析の好調により前年同期比で増収となりました。

メディコム事業では、医科システムにおいて、引き続き診療所用カルテ医事システム「Medicom-HRfシリーズ」を主力商品として、2023年4月より導入が原則義務化されるオンライン資格確認システムとのセットでの提案等により販売を進め、自社製品の買替を中心に販売が好調に推移しました。調剤システムでは「PharnesVシリーズ」を主力商品として販売を進め、大手チェーン薬局向けの販売が引き続き好調に推移しました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、8,480百万円(前年同期比31.8%減)となりました。これは、メディコム事業では一時的な構造改革費用の増加を好調な売上に伴う増益が補った一方で、LSIM事業において新型コロナウイルス感染症PCR検査の診療報酬引き下げによる影響が大きかった事が主な要因です。

調整後EBITDAは、17,444百万円(前年同期比15.5%減)となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期748百万円、前年同期149百万円をそれぞれ加算)がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	68,376	80,421	17.6%
営業利益	4,583	6,258	36.5%
EBITDA	9,519	12,249	28.7%
調整後EBITDA	12,203	12,105	△0.8%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	4,583	6,258	36.5%
+ 減価償却費	5,042	5,873	16.5%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	△106	117	—
EBITDA	9,519	12,249	28.7%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	809	530	△34.5%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	968	337	△65.2%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	801	36	—
+ 一時的なその他の収益・費用	107	△1,048	—
調整後EBITDA	12,203	12,105	△0.8%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、80,421百万円(前年同期比17.6%増)となりました。病理事業の売上収益は、36,506百万円(前年同期比25.0%増)、バイオメディカ事業の売上収益は、43,915百万円(前年同期比12.1%増)となりました。病理事業では、機器やスライドの売上は前年同期比で減少したものの、為替の好影響、M&Aに伴う売上増加、デジタルパソロジーや消耗品の好調な売上により、増収となりました。バイオメディカ事業では、研究・医療支援機器分野の売上は、前年同期比で大幅に増加しました。米州地域では製薬・バイオテック企業を中心にライフサイエンス研究施設の新設や拡張案件を多数獲得、また欧州地域では一般需要向け売上が大きく伸長したのに加え、mRNAワクチン製造拠点における超低温フリーザーの需要も継続し、両地域では為替の好影響も加わり大幅な増収となりました。日本では一般需要向け販売が大きく伸長するも、前年同期のmRNAワクチン保存用超低温フリーザーの特需を上回ることはなく、減収となりました。中国でも、第1四半期の上海ロックダウン影響をカバーすべく増販活動に努めるも、国産品優遇施策の強化やコロナ感染拡大による市場停滞の影響を受け減収となりました。調剤支援機器・その他の売上は、米州でOEM供給先のM&Aに伴う第2四半期における活動停滞により減収するも、日本においては市場の回復により好調に推移し、増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、6,258百万円(前年同期比36.5%増)となりました。第1四半期の中国上海のロックダウンの影響や、販管費の増加、M&Aに伴うコストの増加の影響もありましたが、原材料費・輸送費の上昇の影響を、コスト削減の取り組みと製品価格への転嫁により軽減し、上述の売上増加により大幅な増益となりました。

調整後EBITDAは、12,105百万円(前年同期比0.8%減)となりました。主な当該調整項目には、サービス契約終了に伴う益を含む一時的なその他の収益・費用(当期1,048百万円減算、前年同期107百万円を加算)、一時的なM&A関連収益・費用(当期530百万円、前年同期809百万円をそれぞれ加算)及び一時的な事業構造改革関連収益・

費用（当期337百万円、前年同期968百万円をそれぞれ加算）がありました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて21,433百万円減少し、569,887百万円となりました。この主な要因は、現金及び現金同等物が35,864百万円減少したこと、Senseonics社への転換権付貸付金の評価損等によりその他の金融資産が4,719百万円減少したこと、円安の影響を受けたことやM-M France SASU、Laurypath SASU 2社の買収等によりれんが8,153百万円増加したこと、欧州における政治不安等に備えた在庫確保と日本国内のパラジウムや半導体不足に備えた先行購入手配等により棚卸資産が8,038百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて24,155百万円減少し、431,100百万円となりました。この主な要因は、配当源泉税が減少したこと等によりその他の流動負債が8,446百万円減少したこと、返済等により借入金11,589百万円減少したこと等によるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて2,721百万円増加し、138,786百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が7,064百万円増加したことに加え、利益剰余金については四半期利益等により増加したことと、配当の支払いによる減少により合計で4,482百万円減少したこと等によるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の22.9%から1.3ポイント増加して24.2%となりました。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、35,864百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には59,368百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6,856百万円（前年同期比29,171百万円減）となりました。税引前四半期利益は前年同期比17,493百万円減少し7,414百万円となりました。これは主に純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損が6,405百万円となったことや、約定金利の変更を反映した会計処理により支払利息が前年同期比2,914百万円増加し4,926百万円となったためであります。また、法人所得税の支払額が前年同期比8,212百万円増加し14,636百万円となりました。なお、この支払額のうち4,750百万円は翌期に還付を受ける予定であります。その他の主な要因は早期退職を含むリストラクチャリングに係る支払いやワーキングキャピタルが変動したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は前年同期比1,837百万円増加し11,265百万円（前年同期は9,427百万円）となりました。この主な要因は経常的な設備投資を主とした有形固定資産及び無形資産の取得による支出が7,446百万円となったことや、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,754百万円となったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、32,874百万円のマイナスであり、前年同期は106百万円のプラスでした。この主な要因は、長期借入金の返済が19,500百万円となったことや、リース負債の返済による支出が4,335百万円となったためであります。また親会社の所有者への配当金の支払額は8,890百万円となりました。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、以下のとおり修正しました。

当期の連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益 (十億円)	営業利益 (十億円)	調整後 EBITDA (十億円)	税引前 利益 (十億円)	当期利益 (十億円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (十億円)	キャッシ ュベース での親会 社の所有 者に帰属 する当期 利益 (十億円)	基本的1株 当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	358.3	33.6	69.3	24.1	16.9	16.7	30.2	133.78
今回修正予想 (B)	358.3	33.6	69.3	17.6	9.9	9.7	26.0	77.91
増減額 (B-A)	—	—	—	△6.50	△6.96	△6.96	△4.24	△55.87
増減率 (%)	—	—	—	△26.9	△41.2	△41.7	△14.0	△41.76
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	340.5	8.2	71.9	3.0	△8.3	△8.5	24.8	△70.78

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失 (有価証券等を除く)

- * 調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益は、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

売上収益、営業利益、調整後EBITDAの通期の業績予想数値については従来の見通しを維持します。当第3四半期のSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価と金利の上昇による影響を反映し、税引前利益は176億円を見込みます。親会社の所有者に帰属する当期利益は97億円で、これに有価証券等を除いた減損損失2億円、M&A関連収益・費用(償却資産)123億円、当第3四半期の転換権付貸付金公正価値評価65億円、法人税見合い調整額△27億円を加算したキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益は、260億円を予想します。

なお、業績予想数値の前提となる為替レートは、1米ドル=138円、1ユーロ=139円で据え置いております。

また、セグメント別の業績予想は下記の通り、従来から変更しておりません。

(単位：十億円)

セグメントの名称	売上収益	営業利益(損失)	調整後EBITDA
糖尿病マネジメント	114.3	28.2	38.6
ヘルスケアソリューション	132.4	10.8	22.7
診断・ライフサイエンス	110.0	9.6	17.3
本社・その他	1.7	△15.0	△9.4

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	95,232	59,368
営業債権	63,727	68,497
棚卸資産	44,509	52,547
その他の金融資産	2,393	3,113
その他の流動資産	10,498	13,831
流動資産合計	216,361	197,358
非流動資産		
有形固定資産	48,276	47,841
のれん	197,754	205,908
無形資産	99,139	92,384
持分法で会計処理されている投資	3,484	3,911
その他の金融資産	22,257	16,817
繰延税金資産	3,245	4,252
その他の非流動資産	802	1,412
非流動資産合計	374,959	372,528
資産合計	591,320	569,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	68,802	67,133
借入金	27,251	30,064
未払法人所得税等	3,219	3,187
引当金	5,019	5,153
その他の金融負債	5,707	6,049
その他の流動負債	27,745	19,299
流動負債合計	137,745	130,888
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,942	1,689
借入金	280,685	266,282
退職給付に係る負債	8,214	7,453
引当金	3,277	3,356
その他の金融負債	10,076	9,756
繰延税金負債	11,789	10,052
その他の非流動負債	1,524	1,619
非流動負債合計	317,509	300,211
負債合計	455,255	431,100
資本		
資本金	47,065	47,751
資本剰余金	44,118	43,422
利益剰余金	28,353	23,871
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	16,406	23,471
親会社の所有者に帰属する持分合計	135,374	137,947
非支配持分	690	839
資本合計	136,065	138,786
負債及び資本合計	591,320	569,887

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	252,368	265,102
売上原価	127,520	138,206
売上総利益	124,848	126,895
販売費及び一般管理費	103,013	105,874
その他の収益	2,621	1,414
その他の費用	189	741
持分法による投資損益 (△は損失)	△203	△264
営業利益	24,063	21,429
金融収益	3,075	148
金融費用	2,231	14,163
税引前四半期利益	24,907	7,414
法人所得税費用	6,273	3,801
四半期利益	18,633	3,612
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	18,513	3,403
非支配持分	120	209
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	156.67	27.33
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	152.82	27.07

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	18,633	3,612
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	388	822
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	2	△61
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	24	125
在外営業活動体の換算差額	2,403	6,747
持分法によるその他の包括利益	190	293
税引後その他の包括利益	3,009	7,927
四半期包括利益	21,642	11,539
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	21,497	11,291
非支配持分	145	248
四半期包括利益	21,642	11,539

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2021年4月1日時点の残高	36,409	31,035	35,158	△1,624	—	400	△32
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	18,513	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	388	2	24
四半期包括利益合計	—	—	18,513	—	388	2	24
新株の発行	10,465	10,361	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	—	—
自己株式の処分	—	△128	—	164	—	—	—
自己株式の消却	—	△1,250	—	1,250	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△15	13	—	—	—	—
株式報酬取引	—	2,477	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	388	—	△388	—	—
その他の増減	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	10,465	11,444	401	1,055	△388	—	—
2021年12月31日時点の残高	46,874	42,480	54,072	△568	—	403	△7

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2021年4月1日時点の残高	5,680	△8	6,040	107,018	542	107,561
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	18,513	120	18,633
その他の包括利益	2,378	190	2,984	2,984	25	3,009
四半期包括利益合計	2,378	190	2,984	21,497	145	21,642
新株の発行	—	—	—	20,826	—	20,826
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	△359
自己株式の処分	—	—	—	36	—	36
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△75	△75
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	2,477	—	2,477
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△388	—	—	—
その他の増減	—	—	—	△0	△0	△0
所有者との取引額合計	—	—	△388	22,978	△76	22,901
2021年12月31日時点の残高	8,058	181	8,636	151,494	611	152,105

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2022年4月1日時点の残高	47,065	44,118	28,353	△568	—	412	△92
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	3,403	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	822	△61	125
四半期包括利益合計	—	—	3,403	—	822	△61	125
新株の発行	685	△462	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△9,201	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	△495	492	—	—	—	—
株式報酬取引	—	261	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	822	—	△822	—	—
その他の増減	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	685	△695	△7,886	—	△822	—	—
2022年12月31日時点の残高	47,751	43,422	23,871	△568	—	350	33

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計	
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計				
2022年4月1日時点の残高	15,753	333	16,406	135,374	690	136,065	
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	3,403	209	3,612	
その他の包括利益	6,707	293	7,887	7,887	39	7,927	
四半期包括利益合計	6,707	293	7,887	11,291	248	11,539	
新株の発行	—	—	—	223	—	223	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△9,201	—	△9,201	
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△112	△112	
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	—	—	△3	—	△3	
株式報酬取引	—	—	—	261	—	261	
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△822	—	—	—	
その他の増減	—	—	—	△0	13	12	
所有者との取引額合計	—	—	△822	△8,719	△99	△8,818	
2022年12月31日時点の残高	22,460	626	23,471	137,947	839	138,786	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	24,907	7,414
減価償却費	23,469	22,250
減損損失(△は戻入れ)	△98	375
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△3,020	6,405
支払利息	2,012	4,926
持分法による投資損益(△は益)	203	264
固定資産売却損益(△は益)	△26	△17
営業債権の増減額(△は増加)	3,982	△885
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,030	△6,068
営業債務の増減額(△は減少)	△2,476	△4,581
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	69	56
その他	283	△6,239
小計	44,276	23,901
利息及び配当金の受取額	516	528
利息の支払額	△2,354	△3,414
法人所得税の支払額	△6,424	△14,636
法人所得税の還付額	13	478
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,027	6,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△8,677	△7,446
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	145	253
貸付けによる支出	△601	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△1,754
事業譲受による支出	△330	—
事業譲渡による収入	700	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△1,449	△441
投資の取得による支出	△754	△1,045
投資の売却及び償還による収入	2,003	—
その他	△464	△830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,427	△11,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△871	△265
長期借入による収入	311,348	—
長期借入金の返済による支出	△326,760	△19,500
リース負債の返済による支出	△4,051	△4,335
株式の発行による収入	20,826	223
自己株式の取得による支出	△359	—
自己株式の売却による収入	36	—
親会社の所有者への配当金の支払額	—	△8,890
その他	△60	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	106	△32,874
現金及び現金同等物の為替変動による影響	519	1,419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,226	△35,864

現金及び現金同等物の期首残高	60,762	95,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,988	59,368

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖自己測定システム及びPOCT (Point of Care Testing) 製品等の体外診断機器並びに電気式医薬品注入器 (インジェクタ) の開発、製造及び販売
ヘルスケアソリューション	レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売や臨床検査事業の展開
診断・ライフサイエンス	研究・医療支援機器、病理診断機器の開発製造販売

② セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	82,257	99,632	68,376	250,266	2,101	252,368
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	82,257	99,632	68,376	250,266	2,101	252,368
営業利益（△は損失）	18,742	12,441	4,583	35,768	△11,704	24,063
金融収益						3,075
金融費用						2,231
税引前四半期利益						24,907
その他項目						
減価償却費及び償却費	10,123	7,830	5,042	22,997	472	23,469
減損損失（△は戻入れ）	8	—	△106	△98	—	△98

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	83,729	99,175	80,421	263,326	1,775	265,102
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	83,729	99,175	80,421	263,326	1,775	265,102
営業利益（△は損失）	19,671	8,480	6,258	34,410	△12,981	21,429
金融収益						148
金融費用						14,163
税引前四半期利益						7,414
その他項目						
減価償却費及び償却費	7,685	8,146	5,873	21,704	545	22,250
減損損失（△は戻入れ）	142	—	117	259	116	375

（注） 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(売上収益)

収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	4,931	94,399	10,473	235	110,039
欧州	42,844	3,121	17,653	—	63,619
北米	21,911	160	29,462	—	51,533
その他	12,570	1,950	10,787	1,866	27,175
合計	82,257	99,632	68,376	2,101	252,368

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	5,673	94,510	9,655	252	110,091
欧州	44,593	2,705	21,444	—	68,743
北米	19,284	124	37,161	—	56,570
その他	14,177	1,835	12,159	1,523	29,696
合計	83,729	99,175	80,421	1,775	265,102